

水にぬれた文化財を どう救う？

—被災文化財の現場から学ぶ—

中尾真梨子氏(奈良県立橿原考古学研究所主任研究員)を講師に迎え、東日本大震災や令和元年東日本台風等で被災した文化財レスキュー活動の経験をもとに、歴史資料の保存・修復をどのように共同で進めるのかを学ぶ公開講座です。学生や地域の方々と一緒に考え、実践的な視点から理解を深めるため、水損文書の保存方法を習得するワークショップをあわせて開催します。

日付

2026.12.5(土)

13:30~17:00[13:00受付開始]

会場

愛知県立大学長久手キャンパス
(長久手市茨ヶ廻間1522-3)
学術文化交流センター地下 多目的ホール

定員

対面 50名(第1部及び第2部)

オンライン 200名(第1部のみ)

申込方法

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/PkJC7ZiCg7>

【申込締切:11月25日(水)】



PROGRAM

第1部 公開講座 [13:30~15:30]

取組紹介

「愛知県の文化財防災に関する取組について」

愛知県民文化局文化部
文化芸術課文化財室 保護・普及グループ

竹田晴香氏



基調講演

「水損文書の救出と対応

—福島県の事例をもとに学ぶ水損文書のレスキュー—

奈良県立橿原考古学研究所
保存科学センター

中尾真梨子氏



第2部 ワークショップ [15:45~16:15] (対面参加者のみ)

※公開講座に先立ち、午前中に県内市町村の文化財保護行政担当者向けのワークショップ(愛知県文化財防災ネットワーク事業/2026年度文化財防災研修会)を開催します。

お問合せ

愛知県立大学日本文化学部

メール: nihon-b@puc.aichi-pu.ac.jp

主催:愛知県立大学日本文化学部、愛知県

協力:東海歴史資料保全ネットワーク、文化財調査活用総合研究所

交通アクセス

- 地下鉄「藤が丘」駅から八草行きリニモ(東部丘陵線)約13分
「愛・地球博記念公演」駅下車 北へ徒歩5分
- 愛知環状鉄道「八草」駅から藤が丘行きリニモ(東部丘陵線)約3分
「愛・地球博記念公演」駅下車 北へ徒歩5分

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。

